鳥取県地域医療支援センター 広報誌

2020 / Winter vol.04

# DOCトリ!

鳥取の地域医療を考えるマガジン　ードクトリ！ー

特集1　わたしのまちのDOCトリ！

大山町国民健康保険名和診療所 所長
**山田　まどか 先生**

特集2　2020年度から新制度スタート

**教えて!! 臨床研修制度**

DOCトリ!

第4号　2020年1月発行　鳥取県地域医療支援センター

※本誌掲載の写真、図版、記事などの無断転載を禁じます。

## 鳥取県地域医療支援センターからのお知らせ

### NEWS 1　2020年度から鳥取県医師養成確保奨学金制度が一部変更

鳥取県では、将来県内医療に携わる医師を養成するため、複数の奨学金を創設しています。

これらの制度では、卒業後、鳥取県内の病院で一定期間勤務すると、奨学金の返還が全額免除されます。

**【制度の変更について】**

2020年度から「鳥取県医師養成確保奨学金」の下記2制度において、「鳥取県内の病院が管理を行う臨床研修」を受けることが返還免除要件に追加となります（2020年度以降に奨学金貸付開始の方が対象）。

- 鳥取大学医学部医学科推薦入試Ⅱ「地域枠」
- 大学医学部医学科在学生対象「一般貸付枠」

**【奨学生の募集予定について】**

「一般貸付枠」については、2020年度も4～5月に募集を予定しています。募集要項は、全国の大学に配布するとともに、鳥取県医療政策課ホームページに掲載しますので、ご覧ください。

各奨学金制度の詳細はこちらから！
https://www.pref.tottori.lg.jp/dd.aspx?menuid=171361

### NEWS 2　医学生スプリングセミナーin鳥取2020を開催！

**鳥取県の地域医療を体験してみませんか？**

開催日　令和2年2月25日(火)～3月24日(火)

対象施設　県内の医療機関 約40施設
（総合病院、自治体立病院や診療所など）

参加費　無料
（※交通費、宿泊費の助成あり）

鳥取県では、県内外の大学の医学生を対象に、県内の地域医療の現場に触れて、地域医療への関心を高めていただくため、医学生スプリングセミナーを開催します。

県内の様々な特色のある医療機関で、地域の医療現場を体験できる貴重な機会です。多くの皆さまのご参加をお待ちしています！

応募方法等の詳細は、鳥取県医療政策課ホームページをご覧ください。

※医学生サマーセミナーも8～9月頃に開催します。

応募方法等の詳細はこちらから！
https://www.pref.tottori.lg.jp/238708.htm

## 鳥取県地域医療支援センターについて

鳥取県地域医療支援センターは、鳥取県・鳥取大学医学部附属病院が連携し、鳥取県の地域医療の充実・発展のために2013（平成25）年1月に設置されました。私たちは、鳥取県の医師不足解消のために、地域枠などの医師のキャリア形成支援や医師の地域偏在解消に取り組んでいます。専任医師も勤務しており、皆さまのご相談などを伺っています。

ご相談やお問い合わせはこちらまで

鳥取県の医療・奨学金制度に関すること
**鳥取県福祉保健部 健康医療局 医療政策課**
〒680-8570 鳥取県鳥取市東町1丁目220
TEL 0857-26-7195　FAX 0857-21-3048

医師のキャリア形成・相談に関すること
**鳥取大学医学部附属病院 鳥取県地域医療支援センター**
〒683-8504 鳥取県米子市西町36-1
TEL 0859-38-7005　FAX 0859-38-7006

### とっとりドクター Naviの配信を始めました

鳥取県の地域医療に関心をお持ちの全国の高校生・医学生・研修医の皆さまに向けて県内の医療情報や勤務に関する情報、医師としてのスキルアップに役立つ情報をメールでお届けします。どなたでもご登録いただけます。

ご登録いただいた方には、『DOCトリ!』を毎号お届けします！

**「とっとりドクター Navi」ご登録住所の確認について**

とっとりドクター Navi登録者の皆さまにおかれまして、勤務先の変更や転居により送付先住所に変更がございましたら、お手数ですが鳥取県地域医療支援センター（本ページ末尾）までご連絡をお願いいたします。なお、ご登録情報の変更については、鳥取県医療政策課ホームページの登録申込フォームでも承っております。

とっとりドクター Navi
登録申込フォーム ▸▸▸
https://www.pref.tottori.lg.jp/273080.htm

**広報誌名『DOCトリ！』の由来**

「DOCTOR」と「鳥取県」を合わせた造語です。医師の皆さんに、鳥取県で活躍してほしいという願いが込められています。

編集発行　**鳥取県地域医療支援センター**

〒683-8504 鳥取県米子市西町36-1（鳥取大学医学部附属病院内）　TEL 0859-38-7005　FAX 0859-38-7006
Eメール t-chiikicen@med.tottori-u.ac.jp　ホームページ http://www2.hosp.med.tottori-u.ac.jp/t-chiikicen/

□ 制作／有限会社キーワード　〒680-0051 鳥取県鳥取市若桜町39 ロゴス文化会館1F　TEL 0857-29-4018

特集1
わたしのまちのDOCトリ!
File No.3

大山町国民健康保険名和診療所
所長
やまだ
山田まどか先生

# 「主治医が先生でよかった」その言葉は何より私の誇り

小さな診療所は、赴任した医師により診療スタイルや雰囲気がガラリと変わることがある。しかし、芯は同じであり続けることが町の医療には不可欠だ。未来を見据え、若い医師はその体制づくりに奮闘する。

## まずは病気予防対策に着手

中国地方最高峰・大山の北麓に広がる大山町は、人口約1万6千人、その豊かな自然を活用した農業、畜産業、観光業に加え、日本海側は漁業も盛んな地域。御来屋（みくりや）漁港では県下一の水揚げ量を誇るサザエをはじめ、四季を通じて様々な旬魚が獲れる。

大山町には診療所が3つある。その一つがここ、「名和診療所」だ。内科に加え小児科を標榜しており、2カ月の赤ちゃんから100歳を超える高齢者までが来院する。「だから気付くと、あるご家庭の家族全員を診ているということがよくあるんですよ」と笑うのは、所長を務める山田まどか医師。明るい笑顔が印象的で、そのせいか診察室の雰囲気も優しい。

果樹栽培農家が多い大山町は、果物をよく食べるため血糖値が高くなりがちで、糖尿病患者とその予備軍が比較的多いという。それゆえ、赴任してすぐ健康対策課長に「糖尿病の人を減らしてほしい」と依頼された。「夏場は農作業があるからまだいいけど、運動しなくなる冬にドーンと悪くなるんです」と山田医師は言う。

そして、「医療だけでは解決しない」と考えた山田医師は、住民に意識改革を促すため適切な栄養指導を行う必要があると、すぐさま町の栄養士との協力体制を構築。2カ月に1回の意見交換で情報を共有し、一人一人に合った具体的な栄養指導が行えるようにした。また、その後患者がどのように改善したか、経過・結果をフィードバックして栄養士のモチベーションアップを図っており、それが栄養指導のさらなるブラッシュアップにもつながっている。

▲広い待合室には畳スペースがあり、乳幼児も過ごしやすい。

## 新しい試みを取り入れ、もう一歩上の診療所に

山田医師が始めた取り組みはこれだけではない。看護師ら医療スタッフのスキルアップにも力を入れており、医師会等が催す勉強会に一緒に参加したり、院内で患者が心肺停止になった場合の訓練を行うなどしている。月1回のミーティングでは、課題・問題点を共有し、医療ミスが起こらないように心がけている。医療スタッフのほうが年上で経験も豊富だが、「リーダーとして名和診療所を引っ張れるのは、ドクターである自分しかいない」との思いから、時には厳しいことも言う。

最近は、終末期を含めた今後の医療や介護について、患者本人や家族とあらかじめ話し合う「ACP（Advance Care Planning）」の取り組みも始めた。重体や危篤になったとき、どこまでの治療やケアを望むか、治療を受けたい場所等を記す独自のノートを作り、必要な場合に記入してもらっている。高齢者は、時として〝人生の最後をどう終えるか〟を考えなくてはならない。在宅医療や看取りに数多く携わってきたことで、人にはいろいろな生き方があり、選択肢も様々なのだと気付いたという。

西伯郡大山町





山田医師と共に看護師3名、▶放射線技師1名、事務職員2名が一丸となって“チーム医療”を展開する。仲が良く、ミーティング中も笑顔が絶えない。

## 町の未来にまで心を配る

幾つもの取り組みを始めたのには理由がある。「診療所の医師は2〜3年で異動になります。私がいなくなっても、変わらず患者さん第一の診療所であってほしいし、次に赴任する医師が働きやすい体制をつくっておきたいのです」と、地域医療に対する思いは人一倍強く、熱い。しかし、前任の病院とは違い、診療所の医師は自分1人。重責に押しつぶされそうになったことも。それでも「自分にできる精いっぱいの医療を提供したい」と、目の前の患者に必死に向き合ってきた。

名和診療所2年目の今年、患者から「山田先生、来年異動するだか？」とよく尋ねられるという。「やっと慣れて何でも話せるようになったのに、もうちょっと先生に診てほしい。来年もおってくれんか」。医師冥利に尽きる言葉に、山田医師はやりがいを感じている。「『山田先生に診てもらえてよかった』と言ってもらえるような医師になることを目標にしているので、すごくうれしい。異動までベストを尽くします」と瞳を輝かせた。

DOCトリ!'s Profile

1988年　鳥取県米子市生まれ
2013年　自治医科大学医学部 卒業
2013年　鳥取県立中央病院 初期臨床研修医
2015年　南部町国民健康保険西伯病院 内科
2017年　鳥取大学医学部附属病院
　　病態情報内科学分野
　　（第一内科診療科群）後期臨床研修医
2018年　大山町国民健康保険名和診療所 所長

【専　門】内科一般／プライマリ・ケア
【資格等】日本内科学会 認定医
　　日本医師会 認定産業医
【趣　味】旅行／神社仏閣巡り

わたしの鳥取LIFE!

### 大山の和傘灯りにウットリ

大山の中腹に鎮座する「大神山（おおがみやま）神社」は、私の大好きなパワースポット。深緑の木々に包まれた、重厚感ある権現造りの社はとても厳かな雰囲気。でも、毎年8月に開催される「大山の大献灯」では色とりどりの和傘が参道でライトアップされ、艶やかに大変身するんですよ。

教えて!!

# 2020年度から 新制度スタート 臨床研修制度

臨床医を目指す医師には、基本的な診療能力の習得のため2年以上「臨床研修」を受けることが義務付けられています。この特集では臨床研修制度の概要や指定病院、今年4月から始まる新制度について解説します！

## ●臨床研修制度とは

「臨床研修」は、医師免許取得後に医師が受ける初期臨床研修のことです。2004年4月から臨床研修が必修化されたため、診療に従事しようとする医師は2年以上、大学病院や厚生労働大臣が指定する病院（臨床研修病院）において臨床研修を受ける必要があります。

制度は、医師としての人格の涵養、プライマリ・ケアの基本的な診療能力の習得、研修に専念できる環境の整備等を基本的な考え方として構築されています。研修医は、病める人の尊厳を守り、医師という職業の重大性を認識し、使命の遂行に必要な資質・能力を習得していきます。

## 臨床研修の到達目標

### A 医師としての基本的価値観（プロフェッショナリズム）

1. 社会的使命と公衆衛生への寄与
2. 利他的な態度
3. 人間性の尊重
4. 自らを高める姿勢

### B 資質・能力

1. 医学・医療における倫理性
2. 医学知識と問題対応能力
3. 診療技能と患者ケア
4. コミュニケーション能力
5. チーム医療の実践
6. 医療の質と安全管理
7. 社会における医療の実践
8. 科学的探究
9. 生涯にわたって共に学ぶ姿勢

### C 基本的診療業務

コンサルテーションや医療連携が可能な状況下で、以下の各領域において、単独で診療ができる。

1. 一般外来診療
2. 病棟診療
3. 初期救急対応
4. 地域医療

## 鳥取県内の臨床研修病院

鳥取県では8つの病院で臨床研修を行っています。
本誌ではvol.2から毎号2病院ずつご紹介していますので、臨床研修病院を決める際の参考にしてください！

### 山陰労災病院

地域医療、救急医療と勤労者医療を推進

### 鳥取県立厚生病院

県中部の中核を担う地域医療と密接な連携

### 鳥取赤十字病院

common diseaseから救急医療まで経験できる急性期病院

### 鳥取県立中央病院

専門医療からプライマリ・ケアまで鳥取県東部の基幹病院

### 米子医療センター

がん・移植医療に強み国立病院機構の急性期病院

### 鳥取大学医学部附属病院

高度先進医療と広域救急知識と根拠に基づく医療の実践

### 鳥取生協病院

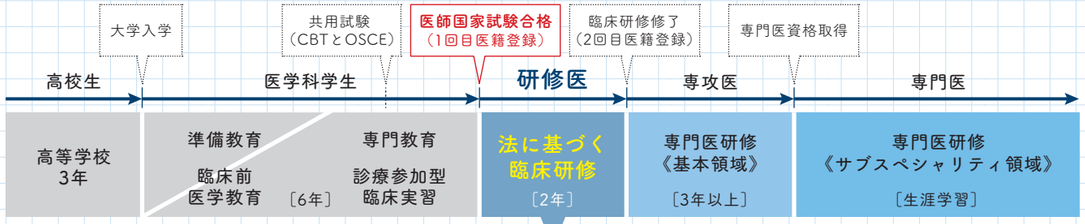
中小規模の病院で研修医に合わせた教育を

### 鳥取市立病院

治す医療×支える医療両機能で地域に貢献



# ここが変わる！ 臨床研修制度




## 改正のPOINT

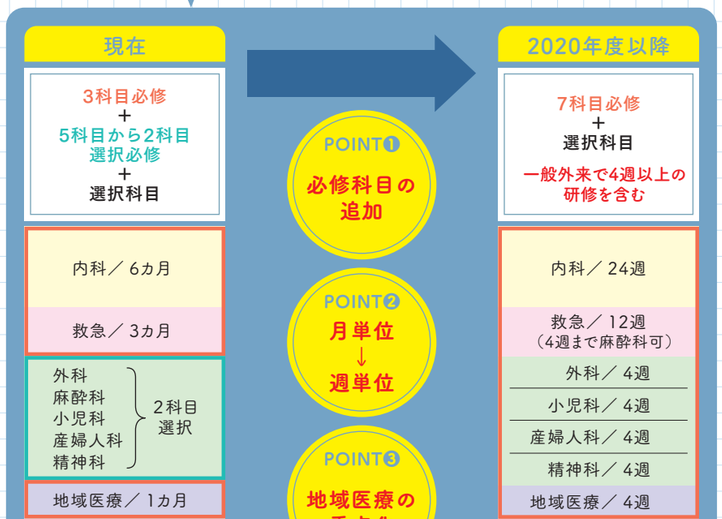
改正点は大きく3つ。1つ目は「必修科目」です。一般的な診療において頻繁に関わる負傷または疾病に適切に対応できるよう、これまで3科目だった必修科目が「7科目」に設定されました。

また、多くの疾病管理が入院医療から外来医療に移行しつつあること、地域包括ケアなど医療提供体制の変化、診断がついていない患者さんの臨床推論を的確に行う能力の重要性から、「一般外来における研修」も必修化されました。

2つ目は、より柔軟に臨床研修できるよう研修期間が月単位から「週単位」に変更された点です。

そして3つ目は「地域医療の研修先」。へき地・離島の医療機関、200床未満の病院または診療所に対象範囲が狭められました。これは、患者さんの日常生活や居住地域の特性に即した医療を理解し実践するという目的を達成するためです。

現代の医療ニーズに沿った改正であることを十分に理解し、充実した臨床研修を行ってください。



### 各臨床研修病院の特徴はガイドブックでCheck！

鳥取県臨床研修指定病院協議会では、県内8病院について1冊にまとめた鳥取県臨床研修病院ガイドブック『鳥取県の臨床研修』を発行しています。臨床研修プログラムの目標や特徴、年間研修計画、日当直回数、待遇等を病院ごとに掲載。指導医や先輩研修医のコメントも参考になりますよ。

http://www.tori-rinsyou.jp/ ➡

ガイドブックは協議会HPからも見られます！

## 「民間医局レジナビフェア2019大阪」に出展しました！

鳥取県地域医療支援センターでは、鳥取県臨床研修指定病院協議会と連携し、2019年7月7日にインテックス大阪で開催された「民間医局レジナビフェア2019大阪」に出展しました。県内の臨床研修病院が参加しており、一度に複数の病院と面談できるとあって当日は、50名を超える医学生が訪れ、指導医や研修医、担当者と熱心に話し合っていました。

# 臨床研修病院

## 鳥取県で医師になろう！

臨床医に義務付けられている2年間の臨床研修。鳥取県内では8つの指定病院で研修を行っています。
その病院を毎号2つずつピックアップ！自分に合った病院を探す参考にしてください。

| 西部エリア | 中部エリア | 東部エリア |
|---|---|---|
| 鳥取大学医学部附属病院 | 鳥取県立厚生病院 | 鳥取県立中央病院 |
| 山陰労災病院 | | 鳥取赤十字病院 |
| 米子医療センター | | 鳥取市立病院 |
| 鳥取県内に全8病院! | | 鳥取生協病院 |

中部エリア

# 鳥取県立厚生病院

県中部全域の急性期・救急医療を担い、
質の高い医療で地域住民の健康を支えます。

鳥取県立厚生病院は、一般病床３００床、感染病床４床を有する公立自治体病院です。鳥取県中部地区（二次医療圏）の地域がん診療連携拠点病院、第一種感染症指定病院、災害拠点病院としての機能を担う一方、地域医療施設と密接に連携し、地域医療支援を充実させています。

診療所では提供することが難しいがん治療や循環器疾患、脳血管障害、小児周産期医療等の高度医療や救急医療を最優先に機能の充実を図りながら、地域医療連携室を通じて地域の医療機関との病診連携や患者・家族の相談支援を積極的に行い、中部地域内で完結できる医療を目指しています。

## 病院の特徴

- 鳥取県中部全地域と岡山県北部一部の急性期・救急医療、さらには小児・周産期医療の中核を担っている。
- 循環器疾患、脳血管障害の急性期治療を行っている。
- がん診療連携拠点病院として集学的がん治療を行っている。
- 地域医療支援病院として地域医療機関との濃厚な医療連携を展開している。
- 多職種垣根のない「チーム医療」を展開している。

## 研修プログラムの特徴

- **幅広い疾患と豊富な症例数**
  鳥取県中部地域住民の救急（特に二次救急）の約７割が来院するため、小児から高齢者まで多岐にわたる疾患症例を診る機会がある。
- **研修医ごとにオーダーメイドプログラムを作成**
  ３年目以降の将来設計を考えている研修医に有意義なプログラムを作成する。希望を最大限取り入れ、各医療スキル向上の機会を設ける。
- **多数の指導医がサポート**
  各年代層の指導医が直接指導。また、診療科の垣根を越えて気軽に教えてもらえるような雰囲気がある。
- **ワークライフバランスに配慮**
  院内保育所が利用でき、育児をしながら研修が可能。コメディカルとのチーム医療が充実しており、レクリエーション交流も盛ん。

### 研修スケジュール例

| 年次＼月 | 4月 | 5月 | 6月 | 7月 | 8月 | 9月 | 10月 | 11月 | 12月 | 1月 | 2月 | 3月 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 1年次 | 内科 24週 | | | | | | 救急・麻酔科 12週 | | | 外科 4〜12週 | | 一般外来 4週 |
| 2年次 | 小児科 4週 | 産婦人科 4週 | 精神科 4週 | 地域医療 4週 | 自由選択科目 36週 | | | | | | | |

上記を基本にプログラムローテーションは相談の上決めます。2年次ローテーションを1年次に前倒しで行う場合もあります。

協力病院 協力施設
精　神　科 → 倉吉病院、鳥取大学医学部附属病院
地域医療 → 藤井政雄記念病院、三朝温泉病院、倉吉・米子保健所
各診療科 → 鳥取大学医学部附属病院、野島病院

## 指導医に聞きました！

### 病院の全職員が研修医の味方です。好環境を活用して成長を。

副院長、脳神経外科部長
臨床研修・教育センター長
紙谷（かみたに） 秀規（ひでき） 先生
脳神経外科

鳥取県立厚生病院は研修するための症例にあふれており、研修指導医や上級医は懇切丁寧な指導を心がけていますので、研修医の皆さんが医療スキルを高められる環境が十分に整っています。医師以外の病院職員も温かく迎え入れてくれますし、研修医専用の部屋も用意されています。

病院内では誰に何を聞いても教えてもらえます。ですから、2年間の研修後は臨床医としての実力と自信がつくはずです。しばらくするとまた「ここで働きたい」と懐かしさを感じる病院です。

## 初期研修医に聞きました！

### 中部エリアの中核病院だからこそ広く深く学ぶことができます。

研修医1年目
藤井（ふじい） 雄基（ゆうき） 先生
鳥取大学出身

当院は、急性期からcommon diseaseまで幅広い患者さんを診ることができます。病床数304床に対して研修医が5〜6名であるため、中心静脈穿刺や腰椎穿刺、胸腔ドレナージなどの手技も数多く経験することができます。また診療科の垣根が低く、どの先生も親切に指導してくださるので、ありがたいですね。

当直は準夜帯（17時〜24時）のみで、翌日の仕事に支障が出ないよう配慮されているのも魅力の一つです。ぜひ一度見学に来てください。

## 病院データ

| | |
|---|---|
| 病床数 | 304床（うち感染症4床） |
| 医師数 | 51名 |
| 指導医数 | 35名 |
| 研修医数 | 1年次：2名、2年次：3名 |
| 入院患者数 | 1日平均247.5名（R1.9） |
| 外来患者数 | 1日平均489.8名（R1.9） |

### お問い合わせ／応募連絡先

| | |
|---|---|
| 担当部署 | 鳥取県立厚生病院 臨床研修・教育センター |
| 所在地 | 〒682-0804 鳥取県倉吉市東昭和町150 |
| TEL・FAX | TEL.0858-22-8181　FAX.0858-22-1350 |
| E-mail | kouseikensyu@pref.tottori.lg.jp |
| WEBサイト | https://www.pref.tottori.lg.jp/kouseibyouin/ |

東部エリア

# 鳥取市立病院

## 「治す医療」と「支える医療・介護」両機能を兼ね備えたケアミックス病院です。

当院は、鳥取県東部地域に密着した中核的病院です。急性期は二次救急医療に重点を置き、救急受入の「治す医療」から、地域包括ケア病棟・退院・在宅医療・後方支援へといった「支える医療・介護」の双方の機能を持つ「ケアミックス病院」としての役割を担っています。また行政と連携して、医療福祉の強化推進と地域における役割分担を意識した医療活動も行っています。

救急医療告示病院、地域医療支援病院、在宅療養後方支援病院、へき地医療拠点病院、がん診療連携拠点病院に準じる病院として指定されており、加えて周産期医療についても持続的に診療を維持しています。

## 病院の特徴

- 地域包括ケア病棟を開設し、多職種専門チームの介入により、急性期から回復期、さらに在宅療養に向けた切れ目のない医療を提供することで、在宅療養後方支援病院としても地域と密接に連携している。
- 鳥取市の寄附講座「災害医療マネジメント学講座」により、岡山大学病院救急部門と連携している。
- 市内にとどまらず、南は八頭郡、東は兵庫県北部までの医療機関と診療連携を行っている。

### 病院データ

| | |
|---|---|
| 病床数 | 340床（うち一般340床） |
| 医師数 | 61名 |
| 指導医数 | 32名 |
| 研修医数 | 1年次：0名、2年次：4名 |
| 入院患者数 | 1日平均243名（R1.9） |
| 外来患者数 | 1日平均457名（R1.9） |


お問い合わせ／応募連絡先

担当部署　鳥取市立病院 教育研修センター
所在地　〒680-8501 鳥取県鳥取市的場1丁目1番地
TEL・FAX　TEL.0857-37-1522㈹　FAX.0857-37-1553
E-mail　ken_dr@hospital.tottori.tottori.jp
WEBサイト　https://hospital.tottori.tottori.jp/




## 研修プログラムの特徴

- 指導医・上級医の複数によるマンツーマン以上の指導をはじめ、看護師・コメディカル・事務職員等とも連携し、研修医を全力で指導・サポートしている。
- プライマリ・ケアから専門医療まで幅広い研修が可能。また、県東部地区における救急車受入件数が多く、初期対応・診断・適切なコンサルタントなど幅広い知識や技術が身に付く。
- 地域医療機関との連携による地域に根差した医療を実践する力が身に付く。
- 必修7科目のほか、当院独自必修として麻酔科、整形外科を研修する。また、岡山大学病院救命救急科で救急部門研修を行う。
- 当院で経験できない診療科や疾患は、鳥大病院・東部3病院等の協力型病院で研修。

### 研修スケジュール例

| | | | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 1年次 | オリエンテーション | 麻酔科 12週 ※救急部門4週含む | 内科 28週 呼吸器・血液、消化器、腎・代謝・内分泌、循環器等 | | | 外科 8週 | 小児科 4週 |
| 2年次 | 地域医療 4週 | 精神科 4週 | 産婦人科 4週 | 整形外科 8週 | 救急部門（岡山大学病院） 8週 | 必修分野の研修を終えた後、将来専門としたい科の研修（鳥取大学医学部附属病院研修を含む） 24週 | |

※研修医1年目の4月に、社会人としての基本的な知識やルールを学ぶため約10日間オリエンテーションを実施します。
※一般外来研修：内科、小児科および地域医療研修中の並行研修により実施します。
※必修7科目のほか、当院独自必修科の麻酔科、整形外科および岡山大学病院救命救急科で救急部門（各8週間）を必修研修としています。また、選択科目は鳥取大学医学部附属病院4週間（必修）、協力型病院でも研修可能です。

### 指導医に聞きました！

**プライマリ・ケアから専門医療まで手厚い指導で独り立ちを後押し。**

診療部長
教育研修センター部長
懸樋（かけひ） 英一（えいいち） 先生
総合診療、プライマリ・ケア

鳥取市立病院では、急性期から回復期も含めたプライマリ・ケア研修に興味のある研修医を求めています。年間救急搬送者数は約3,000件あり、初期対応から治療までの過程を経験することができます。また、地域包括ケア病棟では生活支援の取り組みも経験できます。

各科ローテート時には指導医と研修目標のすり合わせを行い、形成評価を設け、目標を達成できるようサポート。社会の変化に沿った対応のできる人財育成を目的に、院内外の教育資源を活用して独り立ちを支援しています。

### 初期研修医に聞きました！

**柔軟かつ研修医主体の内容によりスムーズに力が付きます。**

研修医2年目
中村（なかむら） 悠大（ゆうだい） 先生
岡山大学出身

当院の臨床研修は、麻酔科、総合診療科から始まるため、救急手技や診療技術を早期から学ぶことができ、スムーズに研修をスタートすることができました。各診療科の垣根が非常に低く、いつでも上級医に質問や相談をすることができるので、とても学びやすい環境だと思います。

救急研修は、その多くが一次～二次救急であるため、研修医が主体となって対応することができ、救急医療に必要な考える力を身に付けることができます。中規模研修病院らしい柔軟な研修内容により充実した日々を送っています。

## 鳥取県で初期臨床研修をしませんか

鳥取県は県と県内臨床研修病院が協議会を立ち上げ、
研修医のための様々な取り組みを行っています。

主な事業
- 臨床研修病院見学旅費の助成
- 研修医交流会の開催
- 臨床研修セミナーの開催

詳しくはWEBで！

お問い合わせ　鳥取県福祉保健部 健康医療局 医療政策課 医療人材確保室
〒680-8570 鳥取県鳥取市東町1-220　TEL.0857-26-7195　FAX.0857-21-3048　E-mail ishikakuho@pref.tottori.lg.jp

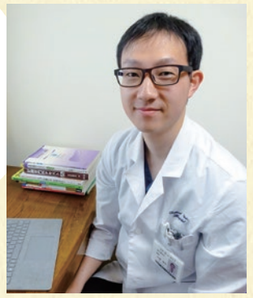

鳥取県　臨床研修

若手医師REPORT

# DOCトリ！のタマゴ

「これから“DOCトリ！”になるぞ」と頑張っている先輩たちに、これまでの歩みや現在の様子を聞いちゃいました！

## 知識の幅を広げ、故郷の医療に貢献したい



山陰労災病院
消化器内科

木原（きはら） 琢也（たくや） 先生

1992年　鳥取県八頭町生まれ
2017年　鳥取大学医学部医学科 卒業
2017年　鳥取大学医学部附属病院 初期臨床研修医
2019年　山陰労災病院 消化器内科

私は、地域枠でなく一般枠として鳥大医学部に入学しました。しかし、もともと地元の医療に携わりたいという思いを抱いており、「将来は鳥取県で働こう」と考えていたので、入学後に一般貸付枠の奨学生となりました。大学卒業後は鳥大病院での初期臨床研修を経て、鳥大病院の第二内科に入局。幅広い疾患を診断から治療まで担える消化器内科領域に興味を持ち、現在は山陰労災病院で消化器内科医として勤務しています。

消化器に限らず、内科領域のその他の疾患を担当することも多々あります。高齢者が入院する際には、患者さんが退院して地域に戻る上で保健・福祉との連携がとても重要であり、医学知識だけでは通用しないことを実感しています。

何事もまだまだ未熟で、日々の業務をこなすだけで精いっぱいの毎日ですが、充実感を持って診療しています。

わたしの鳥取LIFE!

### 素材の良さが光る 鳥取の地酒＆美食

趣味は特にない僕ですが、週末には鳥取の美味しい食材をつまみながら地酒を嗜んでいます。自然豊かな鳥取は水がきれいだし、良質な米ができるんです。そういった素材からつくられる鳥取の日本酒はそれぞれ特徴的で、飲み比べるのが楽しいです。

## 仲間の言葉から気付きをもらいつつ成長中！

鳥取県立中央病院
初期臨床研修1年目

永澤（えいざわ） 萌（もえ） 先生

1992年　兵庫県神戸市生まれ
2019年　鳥取大学医学部医学科 卒業
2019年　鳥取県立中央病院 初期臨床研修医

私が鳥取県立中央病院で初期臨床研修をしたいと思ったきっかけは、熱心に指導してくださる先生方はもちろんのこと、症例について相談したり情報共有したりする当時の研修医の先生方の姿を追いかけたいと思ったからです。また、一次救急から三次救急まで幅広く診療できることも魅力に感じました。

実際に今の研修では、指導医の下、検査や治療の方針などを主体的に考えながら内科や外科などをローテートしています。指導医だけでなく、分からないこと、疑問に思ったことをほかの研修医や他職種の方々と相談しやすい環境にも感謝しています。特に同じ研修医との昼休憩中のたわいもない会話から気付かされることも多く、毎日のモチベーションになっています。これからも初心を忘れず、日々成長しながら医師として過ごしていこうと思います。

わたしの鳥取LIFE!

### 休日はマイカーで 鳥取の名所めぐり

大学卒業後に自分の車を持ちました。運転の練習をかねて、天気のいい休みの日にはドライブに出かけることがあります。自分で運転して初めて国府町の「雨滝」に行ったときは、清浄な滝の美しさや迫力ある音、周囲の緑にとても癒されました。



1度は行くべし！

# TOTTORI★イチオシ名鑑

Enjoy Tottori life!

地元の魅力を知り尽くす謎の編集部員「SR」が、観光地とグルメを毎号1カ所ずつご紹介します。せっかくの鳥取LIFE、楽しまなきゃ損ですよ！

遊 @Western

## とっとり花回廊

## 季節の花々による美の競演！ 園内どこも“映えスポット”

雄壮な大山を借景に、一年中美しい花が咲き誇る日本最大級のフラワーパーク。庭園をぐるりと取り囲む1kmの「展望回廊」は屋根付きで、雨天も傘なしで花園を見渡すことができます。また、中央にある直径50mの巨大なガラス温室「フラワードーム」は、熱帯・亜熱帯の植物、華麗な洋ランなどに彩られた別世界！

春が待ち遠しいこのシーズンは、2/29～3/29「パンジー・ビオラ展」、3/14～31「らんまつり」などが開催されます。花たちの競演は見応え満点、自然と心がウキウキしちゃいますよ♪

住 西伯郡南部町鶴田110　☎ 0859-48-3030
営【4～11月】9：00～17：00（夜間営業日は～21：00）
【12～1月中旬】13：00～21：00
【1月中旬～3月】9：00～16：30 ※最終入園は閉園の30分前
休 無休（7～8月・12～3月は火曜日 ※一部開園日あり）
¥【4～11月】大人1,000円、小・中学生500円
【12～3月／夜間（17：00以降入園）】大人700円、小中学生350円
P あり（無料）
JR米子駅から車で約25分／米子道溝口ICから車で約10分
※営業時間・休園日はWEBサイトのイベントカレンダーをご確認ください。

食 @Middle

## 町屋 清水庵（せいすいあん）

## ここでしか食べられない！ 倉吉発の郷土料理「餅しゃぶ」

▲餅しゃぶスペシャル 1,650円

厚さ3mmの四角い餅をダシにくぐらせ軽くしゃぶしゃぶすれば、あっという間にトロ～リ。上品なカツオダシをたっぷり含んだお餅は舌に溶け込むような美味しさで、のどごしもツルリ。一度食べればクセになる「餅しゃぶ」は、倉吉で100年以上餅屋を営む清水庵の名物メニューです。

お餅は全部で12種類。ニンジン・シイタケ・ヨモギ・カボチャ・ゴマ・ユズ・トチ・唐辛子等の素材が練り込まれており、いろんな味が楽しめるんですよ。野菜に巻いて食べても美味。明治時代の古い町屋を改築した店舗で、和情緒に浸りつつ頂いてみて。

住 倉吉市堺町1丁目876
☎ 0120-418-483（フリーダイヤル）
0858-22-4759
営 11：00～14：00
17：00～21：00（LO20：00）
休 火曜日
P あり（無料）
JR倉吉駅から車で約10分